

堀川同窓会報

HORIKAWA ALUMNI ASSOCIATION JOURNAL

100周年記念・特別号

HORIKAWA
100th



佐渡 裕（音高31回卒）

遷都千二百年で京都がお祝いムードだったのは、そんなに前の事ではなかったと記憶しているから、その12分の1、百年の歴史をこの堀川高校が迎えるということは、この歴史的な街の中でも凄く意味のあることだ。僕は京都の太秦で生まれ、小学校から大学まで京都市にお世話になった。しかも、京都市少年合唱団で5年間過でし、今も仕事場として京都市交響楽団の指揮台に立たせてもらっている。全てに「京都市立」と付くことは、学費の面でも随分親孝行をしたと思っているし、僕を音楽家として育ててくれたこの街を誇りに思い、何かの形で恩返ししなければと常々思っている。

さて、僕は堀川高校でも音楽科に入学した。要するに分校だけれど、世界に出てしまえば同じ「堀川」だと思っている。パリのレストランで、偶然に隣同士になった日本人「どちらからいらしたのですか？」の問いに「京都です」と続いた時には、もうその後の会話は想像がつく。ましてや本校であろうが分校であろうが、「堀川」という共通パスを持っていることが分かった、もうすっかり同級生な気分だ！

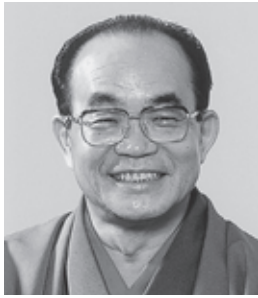
さて、この4月、僕は100周年の記念コンサートの指揮を任せてもらうことになった。そうそう、僕が堀川

分校の頃（結構こだわってるなあ）、堀音のオーケストラを指揮して、本校の学園祭に呼んでもらったことがある。曲目は「宇宙戦艦ヤマト」。かなり盛り上がって盛大な拍手を頂いた記憶がある。あれ以来だから、既に30年。早いね〜。今回僕と同じく堀音を卒業し、現在東京フィルハーモニー交響楽団の首席フルート奏者を務める、吉岡アカリ君にも出演してもらおう。少年合唱団でも彼は後輩で、僕が笛を吹いているから彼も笛を始め、同じ先生について僕の背中を見てしっかり勉強していたら、あっという間に僕より笛が上手くなったやつ。彼が現れなかったら、僕は笛を続けていたかもしれないなあ…。日本を代表する笛吹きになったアカリを迎えて、モーツァルトとシャミナードの2曲を吹いてもらおう。そして、オーケストラは西宮北口（兵庫県立芸術文化センター）で大成功を収めているHPAC（兵庫芸術文化センター管弦楽団）がつとめる。アカリが美しい笛を奏で、オーケストラがお客様を熱く熱く沸かすことでしょう。堀川の校風が生んだ、二人の分校卒業生。自分自身のお祝いとしても、美しく華やかなコンサートにしたいと思います。

母校・堀川高校をこよなく愛される同窓生の皆さん、堀川高校創立100周年おめでとうございます。

最近、堀川高校の同窓生の方々によく出会い、あの方もこの方も堀川の卒業生だったのかと、同窓生の多彩な分野でのご活躍、そして、今、輝かしい伝統を礎に大きく飛躍し、我が国はもとより世界が注目する堀川高校に感動する日々であります。

「堀川の奇跡」との言葉をしばしば耳にし「なぜ、堀川が」とよく聞かれます。私は「奇跡でもなんでもない。輝かしい伝統と血の滲むような努力の結果。」と申



してきました。「堀川力」、伝統の力、熱意溢れる教職員、生徒一人一人の創造力、胆力、チャレンジ精神、そして同窓生の力が結集してのことと感謝しております。

卒業生の一人でもある元教育長の門川大作氏が、私に堀川高校をはじめとする市立高校や小・中学校等の教育改革の状況について報告をしてくれました。「堀川の教職員は意欲に満ちている。PTAや同窓会の支援体制もすごい。何よりも生徒が元気。パイロット校としての堀川は必ず成功します。」と。

今日、堀川高校の輝きが市立高校9校全ての輝きへと繋がり、市立高校はもとより、小・中学校や総合支援学校等の改革が「京都モデル」として全国から注目を浴び、本市教育が大きく活性化し、また伝統ある「私

学」や「府立」との切磋琢磨は、京都の教育全体を引き上げる原動力となっております。

先頭を走る学校を創る。しかし「勝ち組」「負け組」は絶対つくらない。先頭を走るモデル校の実践と成果を全ての学校で生かしていく。こうした京都市の学校改革の理念が大きく花開いていることを嬉しく思います。

門川大作氏が内閣の教育再生会議や中央教育審議会に参画し、また、国会の場で参考人として、2度にわたる意見陳述を行う中で①「二人一人の子どもたちを徹底的に大切にする」、②「現



国会答弁の門川氏

場主義に徹する」、③「市民ぐるみで進める」本市教育の理念と成果を踏まえ、我が国の教育改革の方策を提言されていることを心強く感じております。

教育を福祉等と共に重要施策としてきた私の12年間の市政で、堀川高校の改革は、最も印象に残る一つであり、同窓会はじめご支援いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

結びに、市田ひろみ同窓会長をはじめ、多くの同窓生の皆様のますますのご活躍と堀川高校の更なる躍進を心から祈念いたします。

京都市長 梶本 頼兼 氏

伝統の力に感動 ご尽力に感謝



同窓会会長
市田ひろみ（高3回卒）

この100年は未曾有の日本の歴史が混迷をもたらした時代です。戦後立ち上がって私達の日本を作りました。堀川高校も又新しい歴史を作った時代です。

壊 晴彦 堀川高校百年を語る。

壊晴彦氏の紹介を頂いたのは同じ18回卒業の同級生の方からだった。演出家・俳優・劇団の主宰と大変お忙しい方に100周年出演のご依頼をした。「僕なんかでいいのでしょうか?」というお返事だったのを思い出す。依頼から二度壊さんの舞台を観劇した。予想を超えるものだった。超多忙なスケジュールのため、2年後の4月19日、その一日の確約をいただくのは至難の業である。正式に出演可能のお返事を頂いたのは2007年の秋。待ちに待ってのお返事に、飛び上がるほど喜んだ。

A E R Aの掲載記事のタイトルに「日本語の魅力を解き放つ『詠み芝居』を演出。」とあった。この一行が出演を願う決手となった。その後お話を聞くと、嬉しいことに京都で育ったことが壊さんの演劇活動に大きな影響を与えているという。長唄の名手だった母親の影響に加え、幼い頃から歌舞伎に惹かれ、堀川高校時代には狂言大蔵流・茂山千五郎（現千作）の舞台を観て弟子入りを

編集部 記

決めたと言う。

堀川高校を卒業後、同志社大学では演劇研究会で芝居三昧の生活。その後「劇団四季」に入りプロの道へと進む。一度二度と演劇界を離れるが、その才能は井上ひさしとの出会いにより再び舞台へと戻った。そして、演出家・蜷川幸雄との劇的な出会いが待っていた。特に海外公演では主役を演じ、蜷川演劇には無くてはならない名優となった。

文化の基本は言語。演劇人は言語を護る番人と、若手俳優が日本を学ぶ塾を主宰。演劇倶楽部「座」である。日本語の発声から着物の着方、伝統芸能や古典文学などの基本を伝え、日本文学作品を独自の形態で表す「詠み芝居」を創出。文学作品の原文を台本に、日本語の美しさ、文学作品の魅力

を解き放つ詠み芝居を誕生させたのである。4月19日壊さんの演出で、語られる「堀川高校百年」がどのように表現されるのか、とても楽しみである。

壊 晴彦（本名 松本敬通・高18回卒）



同窓会副会長
石田 哲雄（高21回卒）

堀川の奇跡は今に始まった事では有りません。高女、音校、定時制、普通科そして今。三万四千人の人生に何かの奇跡。先生、同期生、先輩、後輩。その時代の堀川に出会いそして何よりそこに居た。それが奇跡であり、誇りです。



同窓会副会長
増田 正蔵（高18回卒）

今春、母校堀川が百周年を迎える。後輩達が活躍だと聞く。嬉しいことだ。4月19日、大先輩の市田ひろみさんが来る。同級生の壊晴彦が演出する。堀音卒の佐渡裕君が彼のオーケストラを引き連れやって来る。感動的な一日になりそうだ。



同窓会副会長
平井 義久（高10回卒）

京都の街の真ん中にある我が母校。名門女学校に始まり、今は超がつく日本一の進学校へと変遷。一世紀の節目、おめでとうございます。京都の築き上げた歴史と伝統、文化と芸術を踏まえて、今後どう熟成してゆくか楽しみにしています。



同窓会副会長
山口 富蔵（高7回卒）

この歳になり、堀川高校に学んだ三年間を思い起こすと、何より「自由な校風」に育まれ、大人としての自覚に目醒め、人として大切なものを培われた事があります。感謝と共に同窓会百周年をお祝い申し上げます。



同窓会副会長
林 道子（高女32回卒）

百周年おめでとうございます。この大きな節目に出会えた事は感無量であり、若き日の色々な思い出に胸が熱くなります。私達卒業したものは手を取り合い今後より一層同窓会の輪が大きく強くなるよう協力して行きたいと念じます。

堀川賞

今年度卒業生を対象にエッセイを募集。今年度は「教育の役割」をタイトルとし、優秀作品3部を選出。4月19日コンサートホールにて荒瀬校長より発表。市田ひろみ会長より副賞金10万円と共に授与。

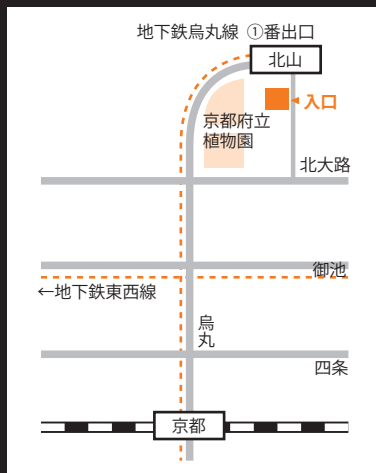
小宴

コンサート終演後、参加者全員の皆様と百周年をお祝いし乾杯をいたします。(下記三会場へ誘導)

第一会場：1階レストラン
高等女学校の皆様
第二会場：1階エントランス
高校1回卒業生～
第三会場：2階ホワイエ
残り全員の皆様

佐渡裕氏、壤晴彦氏、市田ひろみ会長、他役員が各会場を回り乾杯をいたします。その後軽食にて少しの時間をお仲間とお楽しみ下さい。

京都コンサートホールへの交通アクセス
京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 ①番出口 徒歩5分



京都市立堀川高等女学校・堀川高等学校創立百周年

堀川高等学校100周年記念コンサート

2008年4月19日(土) 12時開場予定

於：京都コンサートホール

京都市左京区下鴨半木町1-26 地下鉄北山下車

料金：¥5,000 (申込方法は8頁)



ラヴェル：

ダフニスとクロエ 第2組曲

モーリス・ラヴェル(1875-1937)は、「スイスの時計技師」と呼ばれたことからわかるように、きわめて精巧な曲作りを実践しました。彼は近代フランスを代表する作曲家ですが、触れればすぐに壊れそうなガラス細工にも似た繊細さこそが、ラヴェルの作品の大きな魅力です。さらにその非の打ち所のない完成度の高さは、これでしかありえないという手応えを音楽にもたらしめています。《ダフニスとクロエ》は、ストラヴィンスキーの《春の祭典》などと同様、20世紀バレエの立役者であるロシア・バレエ団の興行師ディアギレフの委嘱で書かれたバレエ音楽です。原作は古代ギリシアで書かれた恋物語で、ダフニスとクロエという少年と少女の二人の間に芽生えた恋が、当時の社会情勢を盛り込んで描かれています。「第2組曲」は三部構成のバレエ音楽のうち、ほぼ第3部のすべてに当たります。バレエはラヴェルが36歳の1911年の初演ですが、「第2組曲」は1913年に編まれました。〈夜明け〉〈バントマイム〉〈全員の踊り〉の3曲が続けて演奏され、幻想的な冒頭部分から、神秘的な音の対話を経て、圧倒的なクライマックスを築くまでが一筆書きのように綴られます。

小味渕彦之（音楽学，音楽評論）

シャミナード：

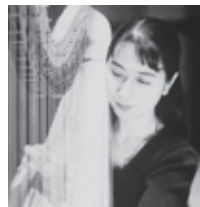
フルートと管弦楽のための
コンチェルティーノ ニ長調 op.107

セルシ・シャミナード(1857-1944)は19歳でパリにピアニストとしてデビューの後、22歳で国民音楽協会の会員に推されて、オーケストラ作品やバレエ音楽などの大作が次々と演奏されました。若き女性作曲家への嫉妬や羨望から不遇の時期もありましたが、彼女の華やかな音楽は根強い聴衆の人気に支えられていました。《フルートと管弦楽のためのコンチェルティーノ》は、多数あるピアノ小品とともに彼女の代表作となりました。45歳となる1902年の作品で、パリ国立高等音楽院のコンクール用課題曲として書かれたものです。今日ではフルートを吹く者なら誰しもが知る曲となりました。単一楽章で構成され、典雅で気品のあるメロディが羽ばたくように舞い降りてくるのです。「この作品には、フルートという楽器に課せられた、あらゆる技巧が含まれています」と彼女は綴っています。ちょうどこの前年の1901年に、44歳のシャミナードは、15歳年上の音楽商で彼女のマネージャーを務めたこともあるカルボネルと、周囲の反対を押し切って結婚、しかも当時は珍しかった遠距離別居婚を敢行しています。

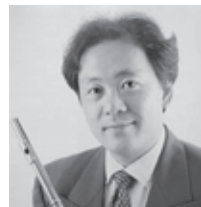
モーツァルト：フルートとハープのための協奏曲 ハ長調 K.299(297c)

「フルートとハープは相性が良い」などと言うと、じゃあ相性の悪い楽器は？ということになりかねませんが、そちらはさておき、この典雅な楽器の組み合わせで響く協奏曲と言えば、モーツァルトの名曲が真っ先に思い浮かびます。他に作品がないわけではないですが、この組み合わせで書かれた協奏曲は意外に少ないのです。

言うまでもなくウィーン古典派を代表する作曲家、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-1791)は、生涯に幾度も旅をしたことでも知られます。それぞれの旅は彼の人生で大きな意味を持っているのです。22歳であった1778年3月にモーツァルトは、母マリア・アンナとともにパリに到着しました。前年から続くこの旅は、一般的に「マンハイム・パリ旅行」と呼ばれるものです。窮屈で居心地の悪いザルツブルク宮廷にほとんど嫌気がさしていたモーツァルトの、言わば仕事探しの旅行でした。残念ながら求職という面ではさほど大きな結果は得られなかった上に、母がパリで体調を崩して病死してしまうという不幸もあったのですが、音楽的には充実した数々の成果がありました。この《フルートとハー



ハープ奏者
松井 久子



フルート奏者
吉岡アカリ（音高33回卒）

一部

13:00

100周年記念式典

ご挨拶 市田ひろみ

堀川賞授与 荒瀬克己校長

百年を振り返って 壤 晴彦

二部

14:00

記念コンサート



佐渡 裕 指揮

兵庫芸術文化センター管弦楽団

PROGRAM

1. モーツァルト
フルートとハープのための協奏曲

休憩（15分）

2. シャミナード
フルートと管弦楽のための
コンチェルティーノ

3. ラヴェル
ダフニスとクロエ 第2組曲



三宅 宗純
(元堀川高等学校校長)

本年は明治41年4月に、京都市立高等女学校がこの地に誕生して、百年を迎えることとなりました。おめでとうございます。

この1世紀は、戦前・戦中・戦後と波乱の時代でもありました。その間には、幾多の皆さんが卒業され、それぞれ一人一人に沢山の思い出があると思います。

私も旧制中学校から高等学校に学び、昭和24年10月には男女共学制となりました。

私が教員になって、日吉ヶ丘高校から昭和37年4月に米田貞一郎校長先生の堀川高校に参りました。翌38年度、商業科は西京

高校へ、西京高校から普通科が堀川高校に移り、普通科と音楽科の高校となりました。

この年、私は初めて2年の担任を持ちました。このクラスの卒業生は「メダカ会」というクラス会をしていましたが、今日では同学年の同窓会となり、数年前からは関東にも「メダカ会」が出来ています。又38年より、当時の高校には少ないマンドリンクラブの顧問を担当。53年4月には紫野高校に移動したものの、マンドリンクラブの卒業生が結成した堀川マンドリン合奏団の顧問を仰せつかりました。現在も合奏団は毎年定期演奏会をし、活動しています。

今日、卒業生の皆様と共に百周年を慶び合い、益々のご発展をお祈り致します。



田中 美鈴
(音高10回卒・元音楽高校校長)

堀川高等女学校の創立100周年、堀川高等学校の60周年、おめでとうございます。私は堀川高校音楽課程ピアノ専攻第10期の卒業生です。三重県の中学校を卒業し、京都市立堀川高校音楽科を受験、北区出雲路の堀川高校音楽科分校に入学しました。そこは音楽課程から発展して出来た市立音楽短期大学と同じ校舎で、二つの校名看板が掛かっておりました。入学は堀川高校の講堂であり、その時の校長先生が米田貞一郎先生で、端正なお顔立ち、穏やかなお話し、音楽科には時々しかお出でになりませんでした。が、偉い校長先生と親しくお話しするのが楽しかった思い出があります。同じ堀川高校ではあっても、入学式と卒業式だけが普通科の生徒達と並んでの行事であり、それ以外で本校との関わりは殆どありませんでしたが、時にはある学年で本校の文化祭に特別出演した事や、また堀川高校の野球部が甲子園に出場することになった時、音楽科が急遽ブラスバンドを編成し、美しい音楽(?)で応援をしたなど聞いております。出雲路分校から岡崎分校へ、そして大枝杏掛分校が独立音楽高校となり転々となりましたが、またこの度、堀川御池の元城巽中学校跡地に移転することになりました。京都市立音楽高校も、平成20年度には

堀川マンドリン合奏団

団長 吉村 良之 (高14回卒)

昭和35年9月、堀川高校10月の文化祭に出演する為、当時3年生だった酒井善治氏、藤田興氏、松本隆氏、柳原義文氏らが中心になって、その2週間前に急遽20名ほどのメンバーを集め練習しマンドリンとギターの2部合奏をされたのが、堀川マンドリン合奏団のルーツです。その年は、60年安保の真っ只中で、高度経済成長期が始まる前でもありました。50年程前とは言えど、高校3年生の秋は受験勉強の大切な時期です。何故そんな時に、堀マン（堀川マンドリン合奏団の略）の歴史が始動したのか。詳しいことは分かりませんが、その精神は今もずっと受け継がれてきているような気がします。

当時のメンバーが卒業後、昭和38年9月にOB会を設立され、翌年の4月に、高校のクラブ員とOBが合同で、堀川マンドリンオーケストラという名称にて、大谷ホールにて結成記念演奏会を開催致しました。私もその演奏会に参加し、昼夜2回公演というスケジュールが大変印象に残っています。その後、名称を堀川マンドリン合奏団と改め、堀川高校のOBだけでなく、広くマンドリン愛好家を集め、顧問をしていただいています三宅宗純氏（元堀川高校校長）のお世話で、東山区馬町の東山小学校で月2回の練習をしており、昨年の7月にも、京都市国際交流会館にて第34回定期演奏会を開催し、現在に至っております。設立当時から精神でもある「メンタルハーモニー（人と人とのコミュニケーション）」を大切に、また、2年前に亡くなられた指揮者の藤田興氏の音楽性を受け継ぎ、今後も楽しい演奏を続けて行きたいと思っております。

百周年実行委員会から

百周年実行委員会代表 松林 良生 (高1回卒)

平成20年4月19日京都コンサートホールにて目出度く百周年を迎えることが決定し、実行委員会が発足いたしました。現在各学年の委員数名ずつが実行委員となり運営しています。更に協力いただける方を募集しております。是非ともご参加いただきますようお願いいたします。同窓会事務局のFAXにお名前、連絡先をお知らせ下さい。事務局より連絡させていただきます。

堀川同窓会100周年特別号に寄せて

画家 遠藤剛熙美術館長 遠藤 剛熙 (高5回卒)

人間の魂を金や物や栄達で買うことはできない。信義無き目先の利害、金と物の欲望が狂奔している現代。身近なところから国家間にいたるまで、権力と暴力、理不尽なことは決して許さず、真実と人類の理想のために己の生命をなげうつ気高い魂が必要であると思っている。

高校入学と同時に油絵を描き始めた。純粋を求めて京都の屋外の自然と街を、教室で人物と静物を熱心に制作した。美術部の

堀音と合わせての創立60周年を祝い、また22年度には新しい学校での新しい出発が始まる予定です。二条城のそば、御池通りの賑わい、至便な恵まれた環境。躍進を続ける堀川高校に近くなりますから、音楽高校生も周囲から多くの刺激を頂いて翔たいてくれることを願っております。

百周年に寄せて

小嶋 喜美 (高女29回卒)

堀川同窓会百周年お目出とう存じます。

昭和十五年丁度皇紀二千六百年記念すべき年に同窓会の一員に加えて頂き今百周年の記念すべき年に巡り逢え参加させてもらえる幸を心より感謝致しております。

顧みれば卒業後は激動の波にもまれひたすらお国の為に滅私奉公で邁進して参り戦後の急激の世相の変化に付いて行くのに四苦八苦でした。在校中は前校舎が出来た時の稽古で体育館を雑巾がけしたり、菊を作ったりと次々と苦しかった事、楽しかった事が思い出され、良くぞここまで来られたものだとの思います。百周年記念を皆様とご一緒させて頂ける事はこの上なき喜びです。今後皆様のお力添えを頂きながら変わっていく世相に付いて行ける様、又同窓会の発展を願い次の世紀に向けて微力ながらお手伝い出来る様頑張るつもりでございます。

未年ら会員の皆様のご健康とご発展を願ひ拙い筆を置かせて頂きます。



米田貞一郎元校長先生の白寿を祝う会

平成19年11月14日米田貞一郎校長先生の白寿を祝う会が堀川高校第6回卒業生が主体となり構成されている横田めぐみさん等被拉致日本人を救出する京都会の主催で盛大に開催された。この日をとても楽しみにしていた横田早紀江さんも朝、横浜での講演会を済まされ京都に飛んでこられた。今なお教育者としての姿勢を貫き早紀江さんの大きな支えとなっておられる米田校長。今春の堀川高校百周年が正に米田先生の鶴寿となるのも嬉しい限りである。翌15日は横田めぐみちゃんの拉致された日でもあり横田早紀江さんは翌朝、新潟へと向かわれた。

救う会京都連絡先：中村喜代治 (高6回卒)
TEL・FAX 0774-22-7076



硬式野球部OB会 渡辺 達雄 (高12回卒)

堀川高校が誕生の翌年に硬式野球部が創部された。昭和32年に野球部第一回卒業の故角田潤治前会長（昨年10月逝去）の発案でOB会が創設され、本年度50年を迎えた。記念行事として10月28日と11月18日に延べ出席者数78名が親睦野球試合を楽しみ、又夜はルビノ京都堀川において67名の出席で記念パーティーが開催された。加地威朗会長の簡潔な“プレーボール”の開会宣言、日本の教育界のカリスマリーダー荒瀬克己現校長先生のお祝辞、白寿（99歳）になられてもカクシャクでハリのあるお声の米田貞一郎元校長先生の乾杯で開宴となる。OB会員の年齢層は18歳～76歳で、異世代、異業種間の交流だが、時期は違えど嵯峨野グラウンドにて、泥に塗れ、汗を流した仲間であり、共通の話題で宴が盛り上がる。和やかな中、本校唯一の甲子園出場メンバーの前田光雄次期会長の“次なる目標は100年、継続は力なり、OB会の益々の発展を”と力強い宣言で御開となる。



猪熊通高辻下る TEL：822-7001

私立美術館等が主催する割に大きな私の個展が四度行われた。2000年秋には市中に個人美術館が竣工し公開した。真理は一つ、天地に二つはない。芸術的真理と宗教的真理は一つ。大自然への畏敬と愛。自然宇宙、神仏、真理真実を同義とする思想と理想を、現実の制作と人生の中で実践することに努めている。

堀川高等学校100周年記念コンサート申込方法 料金¥5,000（1枚）

- 同封の振込用紙に 1.申込枚数 2.総金額を書き込みお申し込み下さい。
- 郵便局にてお振り込み下さい。（振込手数料は不要）
- 振込の確認後、順次チケットをご用意いたします。
- 申込期間は2月29日までといたします。
- チケットは、3月25日以降、一斉に発送いたします。
- 先着1,800名様まで受付いたします。

申込期間中に1,800名を超えた場合はお断りすることとなります。

どうぞご理解ご了承願いますよう、宜しくお願いいたします。

100周年寄付金申込方法

- 同封の振込用紙で、ご寄付いただく金額を明記の上、郵便局にてお振り込み下さい。
- コンサートチケット申込とお間違いのないようお願いいたします。

100周年記念 京都新聞全面広告 協賛申込方法

- 堀川高校百周年を記念し、堀川同窓会の益々の発展を願い同窓会員へ広報いたします。
- 2008年3月上旬掲載予定（申込み〆切り 2月29日）
- 京都新聞全頁15段（タテ534mm×ヨコ386mm）
- 協賛費 企業協賛枠 1枠 ¥31,500（タテ6mm×ヨコ30mm）50枠
- 個人協賛枠 1枠 ¥21,000（タテ3mm×ヨコ30mm）75枠
- 申込み方法

氏名ご連絡先をFAX：075-211-1526までお知らせ下さい。事務局よりご連絡いたします。

編集後記

訃報 故 角田潤治氏（高2回卒）

2004年11月に堀川同窓会の副会長をお引き受けいただき、2006年11月逝去されるまでの2年間という短い期間ではありましたが、新たな同窓会の立ち上げに多大なご尽力を賜りここに感謝の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。 合掌

同窓会、クラブ等の情報、住所変更等のお知らせは下記まで御願いたします。

FAX:075-211-1526 堀川同窓会宛